

平成29年度タウンミーティング会議録

期 日	平成29年6月13日(火) 19:00～
会 場	大洗文化センター 大会議室
対 象 者	農業・水産業・観光業、工業・建設業関係団体 (観光協会・観光ボランティア・商工会・漁協・漁業研究会・農業委員会・ 土地改良区・建設業協議会・建設工業会・旅館組合・水田担い手組合・そ菜 生産連合会・水産加工協同組合)
町 執 行 部	町長，教育長，参事，町長公室長，まちづくり推進課長，まち づくり推進課専門担当主査，こども課長，学校教育課長
出 席 者	39名

- 町民：
- ・宮下地区の防潮堤については、県の港湾事務所と前向きに話しを進めている最中と認識していたが、平太郎浜周辺はもう決定したということなのか。文化財として名勝指定されており、景観にも十分配慮して欲しい。
 - ・海岸法を勉強すると、防潮堤の問題は宮下地区住民と建設する県だけでなく、利害関係者全てが公開のもと会議をするべきと考える。後から問題にならないかと懸念している。

まちづくり推進課専門担当主査：

- ・平太郎浜周辺については今年度着工予定と説明したが、あくまでも予定である。きちんと地域の皆様と協議を踏まえ、広く理解を得たなかで景観にも十分配慮し進めていく。

- 町民：
- ・定住促進奨励金はアパートを借りて移住して来た方は対象にならないのか。新築のみしか対象にならないのはハードルが高いのではないか。

まちづくり推進課長：

- ・定住促進奨励金は、新築500万円以上の中古住宅取得を対象としており賃貸は対象としていない。
- ・賃貸を対象としている自治体があることは承知しており、予算編成時には様々な議論をしている。費用対効果を勘案しながら進めていきたい。

- 町民：
- ・原子力事故（6/6のJAEA大洗研究開発センター燃料研究棟における汚染）は、お客さんからの問い合わせで知った。報道で大きく取り扱われる前に知らせて欲しかった。

生活環境課長：

- ・町民に防災行政無線で周知するかどうかは「環境への放出の有無」、「住民への被害可能性」から判断している。テレビ等のメディアでも作業員の被爆がメインであったが、環境への影響はないことも報道されていた。

町民： ・メディアもどれを信用して良いのか判らない。お客様に聞かれても「知らない」「わからない」では信用に関わってくる。

生活環境課長：

- ・6月7日にはホームページ上で「外部環境への放出や周辺への影響等はない」ことを掲載した。
- ・防災対策マニュアルについては見直しの検討を行う。
- ・電話での問い合わせもあり、環境への放出がないことを回答した。

町民： ・大洗小学校の歴史クラブの協力をしており、幕末と明治の博物館の見学を計画している。50分の授業時間で30分を移動に費やすのはもったいない。先生から福祉バスは1年に2回だけしか使用できないと言われているが、なんとか使用できないものか。

学校教育課長：

- ・福祉バスは予約制となっているので、時間が合えば人数に関わらずご利用いただきたい。
- ・社会福祉協議会でも小型バスを所有しているの、上手く活用できるかどうか検討したい。

町民： ・幕末と明治の博物館に紺色の半纏を「間祝着」として飾っているが、あれは「間祝着」なのか。
 ・展示していない皇族方の衣装を見たいと申し出たところ、ボロボロで見せられる代物ではないとの回答があった。見せられない・展示も出来ない物を保存しておく必要があるのか。
 ・館内をもう一度点検し、おもてなしをする環境を整える必要があるのではないか。

町長： ・博物館長に確認し、善処出来ることは善処する。

町民： ・神磯は神聖な場所だから立ち入らないよう説明しているが、立ち入る人がいる。看板なども必要ではないか。

商工観光課長：

- ・ 景観に十分に配慮していきたい。
- ・ 神磯には登らないよう周知していきたい。

町民： ・ 5月5日のボランティアガイド中に神磯の手前の岩で海に落ちた方がいる。神磯の案内看板にロープを設置できないか。

商工観光課長：

- ・ 現地をみてから検討したい。

観光協会専務：

- ・ 神磯については大洗磯前神社からも苦情が寄せられている。商工観光課と調整して実施していきたい。

町民： ・ 南小中学校の正門前の坂は急カーブであり、山場平住宅の方から下りてきて道路を渡るのは大変危険である。

町長： ・ 県道大洗友部線は、県に歩道整備を進めていただいている。安全対策はしっかり実施していく。

町民： ・ 内水面での油の流出が酷い。水質改善をして欲しい。

生活環境課長：

- ・ 水質の保全に関して町の方で何が出来るのか、県に対してもどういった対策がとれるのか確認しているところであり、もうしばらくお待ちいただきたい。

町長： ・ 現場確認をさせて、どこが流しているのか追及するように指示している。徹底的に追求して改善を図らなければならない。
・ 水産加工等の排水についてもSS成分を除去するなど前処理をして流す気遣いは必要ではないか。

閉 会 20：40